

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	Sweet hot
住 所	郡山市小原田3丁目10-4
電話番号	024-954-7760

事業所番号	710301367
管理者名	岡部 早苗
対象年度	令和6年度

地域連携活動の概要

<活動内容>

- 子供食堂「つばさ会」 代表遠藤氏
- 毎月1回から2回 火曜日 17時お届け
- 500円弁当を50個前後
- 希望ヶ丘団地の集会場にて

<活動の様子> ①



②



③



③金屋店にて、夕方のつばさ会の弁当作りに盛り付けする。メンバー2名。早番でお昼の弁当を作り終え、休憩後子供たちの為に喜ぶ弁当作成と気合が入る。

<目的>

コロナ禍の時に本庁にて販売していたところ、遠藤氏に声をかけていただき、子供食堂の弁当の依頼を受ける。希望ヶ丘周辺の子供たちに美味しく、栄養バランスの取れた手作りのお弁当を届けることが目的である。

<成果>

福祉と地域の連携として、未来の子供たちに安全で健康的な食事を提供できる事は Sweethotとして、大切な仕事として受け止めている。メンバースタッフも支援スタッフも協働して、子供たちが飽きないように、また、食べやすく誰にでも喜ばれるメニューにしようと話し合い作成している。

課題点では、物価高騰の為いつまでこの価格でお受けできるかが課題である。一人でも多くの子供たちに笑顔で食べ頂ける商品作りとして、一丸となって日々検討を重ねている。

①②

希望ヶ丘団地の中にある集会場に17時届ける。つばさ会の皆さんとボランティアの皆さんで、その日に集まった、お菓子、飲み物、果物、お野菜そして、Sweethotの弁当をセットにして、利用者さんたちに丁寧にお渡ししている。

お弁当は心を込めて作成し、子供たちに栄養のバランスのとれた、見た目も喜びそうなメニュー作成を心がけている。

未来の子供たちが、大人になって、Sweet hotのロゴマークを見て思い出していくだけたら、何より、地域との繋がりを感じると思われる。

連携先の企業等の意見または評価

つばさ会（希望ヶ丘）での活動 2020年7月より、お弁当を買い取ってひとり親家庭の肩を中心に、配布を始めました。最初の利用者は25～6名。3年後は44名。現在は引っ越しなどもあり、36名の利用となっています。

Sweet hotさんでは、毎月第一火曜日にお弁当を頂いています。栄養バランスの良い、美味しいく、子供たちも喜びそうなお弁当を届けていただき、有難く思っています。利用者さんも「美味しいですよ」と喜んでいました。最近は、物価高が続いているので、利用者さんは経済的に大変助かると喜んでもらっています。

ただSweet hotさんも物価高で大変なことも心配しておりました。

今後も子どもの健康に寄与してくださいますよう、美味しいお弁当の提供をよろしくお願い申し上げます。

連携先企業名	つばさ会	担当者名	遠藤洋子
--------	------	------	------

就労継続支援A型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	Sweet hot
住所	郡山市小原田3丁目10-4
電話番号	024-954-7760

事業所番号	710301367
管理者名	岡部 早苗
対象年度	令和6年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容>

○活動場所：Sweet hot

○実施日程：令和7年3月18日

○専門技術講師派遣事業

郡山障害福祉センターによる「接客マナー講習会」

○利用者数 12名

○職員 3名 計15名

<目的>

○日々のカフエ業務・販売業務等の接客業務のスキル向上

○日頃の挨拶や接客態度をさらにレベルアップ

○様々なお客様に対しての接客業務の心得の習得

<成果>

・接客マナー講習、今回遠藤さだ子先生が最後の講座として、受けてくださり、Sweet hot一同最後の講義を真剣に受講させていただいた。遠藤先生とは17年間カフエがスタートする前に出会い、毎年研修を楽しみに、接客マナーについて学んできた。毎回全員が五感を研ぎ澄ませ真剣に受講していた。最後の講習会という事で、一言一言、メモに取って、わからぬ言葉などは確認することもできた。

特に「うめライス」話を聞く際に意識する5つのポイント。覚えやすくするために
ううなずく。め→目をみる。 ラ→最後まで聞く。 い→一生懸命 す→スマイルをする。

成果としては、カフェスタートの際、「いらっしゃいませ」が言えなかったメンバーが今では当たり前のように接客でき、今では「恐れ入ります」を的確に分けることができるメンバーもいる。一人一人がこの研修を楽しみにしていたこと。最後という事で、先生から学ぶ接客マナーについて真剣に取り組み、研修の場が和やかにリラックスでき、誰もが真剣に柔らかな笑顔でうなずくことができていた。まさに、「うめライス」を実現していた。

<活動の様子> ①



②



③



①今年度最後の遠藤先生とのお別れを惜しんで、
カメラが苦手なメンバーが積極的に先生と写真を撮影。
場面寡黙のメンバーで、うなずくだけでも挨拶になる事
目が大事と丁寧にご指導いただいた

②③マナー講習について

- 1) 良い印象、人に対して好感を持ってもらう。
- ・身だしなみ、清潔感、笑顔、言葉使い、挨拶は元気に挨拶するだけで印象が違う。
- 2) 迷惑をかけない
- ・迷惑をかけられたらすぐに相談する。相手によっては伝えることも大事だが、いろんな人がいるので対応するのは危険なこともある。迷惑をかけないように配慮する。
- 3) 相手を大切にする。尊重する。敬意をはらう。
- ・相手のことを大切に思う事気持ちは態度に出る。相手を尊重することが自分も大切にする。

連携先の企業や事業所等の意見または評価

遠藤さだ子先生に教えていただき、Sweet hotさんの最後のマナー講座でした。先生には、10数年間に渡り、マナー講座お世話になりました。

コロナ禍の時期を除き、毎年繰り返し「マナーとは何か」利用者さんと職員さんに教えていただきました。先生のマナー講座は言葉使いやお辞儀など大事ですが、もっと基本的なひとに嫌な思いをさせないための心遣いを教えていただく時間だったと思いました。先生に教えていただいた「うめライス」や「聞く力」を今後も忘れずに大切に心がけたいと思います。（小林）

今回遠藤さだ子様による接客マナー講座を拝見させて頂きました。

先生のお話は、かんがえさせ、そして一つ一つの答えを皆のタイミングを見て、丁寧にゆっくりお話しする。穏やかに、はきはきと、そして利用者もはなしたくなるような雰囲気作りは大変勉強になりました。

「人の話は笑顔で最後まで一生懸命に聞く」

お客様への心配り、接客の難しさも改めて教えられました。時々「うめらいす」を思い出し知人に教えたいと思いました。（渡部）

連携先企業（担当者）	郡山市障害者福祉センター 授産担当 小林氏 渡部氏
------------	---------------------------

利用者からの意見・評価

メンバーTさん・・・接客を学び、お客様に大事に丁寧な接客をこれからもしていきたい。

メンバーHさん・・・「うめライス」とても分かり易くこれからも忘れないで接客していきます。

メンバーKさん・・・笑顔での接客業務をし、報告・連絡・相談をしっかり行っていきたいです。

メンバーFさん・・・先生に教えてもらったことをいつまでも忘れません。

メンバー全員・・・遠藤さだ子先生への感謝の言葉を伝えられた。今後も接客マナー講習を受講したいという意見もあった。